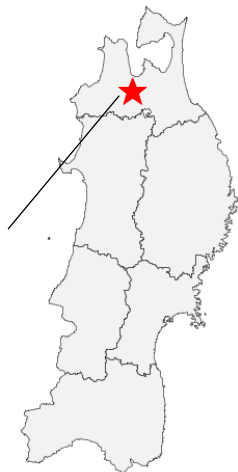


大豆の有機栽培に取り組んでいる事例②（株式会社 アグリーンハート）

所在地

青森県
黒石市



経営規模

(R7年産)

大豆(有機) : 21.1ha
水稲 : 55.8ha
うち有機 : 36.8ha
うち減農薬 : 19.0ha
アスパラ(有機) : 0.1ha
合計 : 77.0ha



説明する佐藤代表取締役

有機農業の様子 (8/17播種・9/5撮影)



有機農業に取り組んだきっかけ

- 親戚が病気で車椅子生活となり、身体に不自由のある者も農業で活躍できる場を作れないかと障がい者雇用を開始した。障がい者雇用の収益性を高めるために、「生産性が低くても、利益が出る」ことを目指し、有機農業を始めた。

取組状況

- 大豆2年、水稲1年稲の輪作体系を基本としている。好気・嫌気条件のサイクルで抑草にも繋げている。
- 大豆は狭畦密植栽培で晩播（7月下旬～8月上旬）。収穫時期は11月上旬。狭畦により雑草は抑えられ、晩播にすることで、子実ができる時期と害虫の発生時期がずれるため害虫被害は少なくなり、品質が良くなる。
- 単収は最高220kg/10aだが、おおむね100kg/10a程度。
- 大豆は有機転換中でも高値で取引できている。経営面でも十分採算がとれている状況。

今後の取組方針

- 令和10年までに自社耕作面積を100%有機農業にする。
- 地域の未利用資源活用を拡大し、地域内循環型の誰でも低コスト&低リスクで簡単に取り組める有機栽培技術を確立する。